

令和6年度事業報告書

公徳学園

1. 対象者処遇

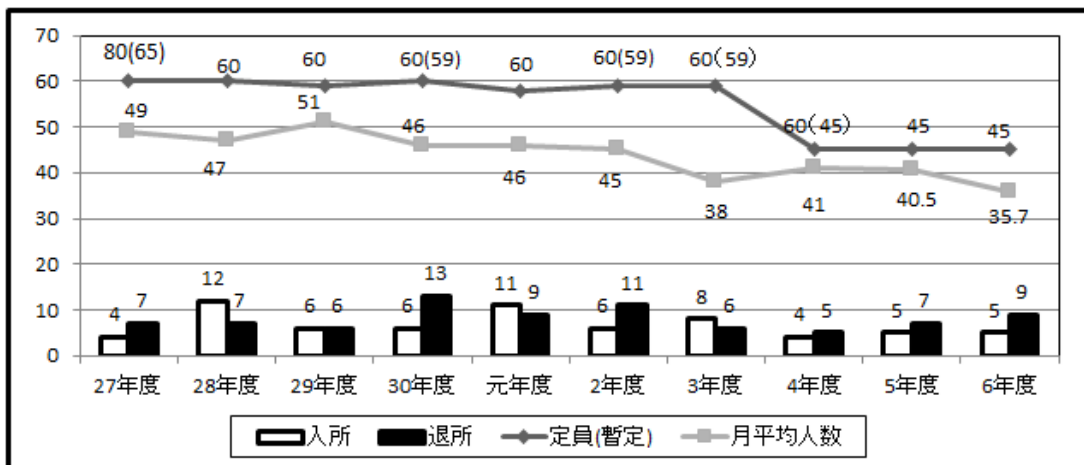
(1) 処遇内容

当園の処遇重点目標である『安全と自立』に基づき、子どもたちが安全で安心して生活できる環境を提供すると共に、自立に向けての様々な援助を行った。

- ① 令和5年度よりスタートした、中高生主体の小規模グループ（男女各2グループ）と小学生・幼児中心の小舎（男女各1グループ）体制を継続した。より家庭的な生活環境の中で、子どもたちが自立に向けた様々なスキルを身につけられるようケアを展開した。
- ② 小舎制のグループにおいて、毎週月曜日の夕食は、厨房職員・グループ職員がグループにて調理をし、グループのリビングでの食事に行っている。今後の全グループ小規模化に向けた取り組みの一環であり、子どもたちがより食への興味を持つなど一定の効果が見られた。
- ③ 中高生に対して自立に向けてのプログラムを実践した。
- ④ 被虐待等、より心理的ケアが必要な子どもに対して、臨床心理士によるセラピーを実施した。臨床心理士と直接処遇職員による連絡会を定期的実施し、連携を図った。
- ⑤ 給食については、季節感や行事食をとりいれ、変化に富んだメニューを提供した。更に栄養バランス・食事摂取基準を考慮し、子どもたちの発育を促した。
- ⑥ 中高生による自主活動委員会が中心となり、職員のサポートのもと、園内行事（子どもの広場）を計画した。また、グループごとに行事を計画立案し、日帰り旅行・バーベキュー・温浴施設・グループ夏祭りなどを実施した。

(2) 児童状況

児童定員 45 名に対して月平均在籍児は 35.7 名であった。入所児 5 名、退所児 9 名。一時保護委託児は 6 名（延べ 131 日）を受け入れた。



(3) 年間実施行事

4月	22日	防災設備点検・避難器具訓練	11月	3日	近大まつり招待
				5日	保育室焼き芋フェスタ参加
				10日	USJ 招待
5月	1日	小学校交流会		13日	職員定期健康診断
	11日	神戸ネスタリゾート招待		15日	創立記念パーティー
	18日	お笑いコンサート招待		16日	地域の集い招待
				29日	保育室園外保育
6月	29日	市民三世代ふれあいまつり招待	12月	14日	モルック体験会
				15日	未来っ子カーニバル
				25日	クリスマス食事会
7月	21日	ドリームサッカー招待		29日	餅つき
	26日	地域除草作業		31日	除夜の鐘つき
	26日	地域除草作業			
8月	7日 8日	目で見ると自然教室	1月	1日	新年の挨拶
	21日	地域除草作業		5日 6日	USJ 招待
	23日 24日	地藏盆			
	24日	交歓ソフトボール大会（優勝）	2月	5日 12日	CAP ワークショップ
	27日	夏休みお楽しみ会（夕食会）		16日	京都水族館招待
				22日	赤十字冬の集い
9月	8日	ソフトボール部祝勝会		26日	キッザニア招待
			3月	4日	保育室遠足
				10日	保育室園外保育
10月	16日	保育室遠足		19日	卒園・卒業祝会
	19日	東大阪施設会合同運動会		23日	防災イベント招待
	23日	防災設備点検・避難器具訓練		24日	離着任式
	26日	子どもの広場		25日	児童・職員定期健診
	29日	日産労連人形劇		26日	縁日

連休中・長期休み中は、各G単位で外食・日帰り旅行・季節のイベントなどを実施
 小学校校庭での校庭開放は第二・四土曜日（原則）に実施
 地域まつり（7/25・10/24・25）参加
 中学校との交流会は今年度は毎月（3・8月を除く）実施

2. 施設運営全般

(1) 施設運営業務

① 苦情解決システム

意見箱を設置し、入所児・保護者等から意見を聞き、リーダー会議にて随時協議、対応した。又、第三者委員に報告し、助言・指導をもらった。

② ヒヤリ・ハット

処遇上危険を感じた事例を都度、チャイルドノートに記録し周知したうえで、職員会議等で報告することにより職員間で共有し、事故の再発を未然に防ぐ対策を講じた。

③ 情報開示

全社協・経営協・東大阪市のインターネット上に法人調書・会計状況の開示を行った。

④ 職員の資質向上

職員の資質の向上、専門性の向上のため、研修計画に基づき研修に取り組んだ。

◎園内研修

階層別研修	各階層ごとのテーマ
人権研修	子どもの人権・施設内虐待防止
処遇研修	子どもとの関わりについて、防災について
OJT 研修	日々の業務の中で各部署責任者が職員に対して実施

◎新任職員研修

次年度採用者に対して就職前に非常勤職員として雇用し、実際の業務を通じて援助技術等の習得を図った。

(2) 地域福祉サービス

【ショートステイ(子育て短期支援事業)】

一般世帯の子どもについて、レスパイト(養育休養)等の理由で、6名(延べ83日)のショートステイを受け入れ、地域の福祉ニーズに対応した。

(3) 社会貢献事業

【子どもの広場】

施設を開放し、行政・学校・ボランティア団体・子どもの友人等を招待し、地域交流のためのイベントを開催した。

(4) 環境整備

入所児の処遇向上・業務省力化を図るため、国の補助金を活用して下記の事業を行った。

◎環境改善事業費補助金（ICT化推進費用）750,000円

◆児童記録ソフト（チャイルドノート）バージョンアップ

児童記録ソフトバージョンアップを実施し、一層の業務省力化と処遇向上を図った。

◆児童棟 Wi-Fi 環境整備

児童棟に Wi-Fi ルーターを設置、ICT を活用することにより入所児の学習・余暇等、処遇向上を図った。

【事業費総額】 1, 133, 000 円

【請 負 業 者】 クオンテックス・ヤマダデンキ

大阪府からの指定寄付金を活用して、下記の備品を購入した。

◎指定寄付金（扶桑薬品工業株式会社） 450, 000 円

◆小規模グループ（男子・女子）の食卓机・椅子が老朽化していたので、入替えを行った。また、各棟の掃除機の吸引力が弱くなっていたので、新品と入替えた。

【事業費総額】 468, 760 円

【請 負 業 者】 ニトリ・ヤマダデンキ

入所児の処遇改善・業務省力化を図るため、自己資金にて下記の事業を行った。

◎複合機（コピー機）の入替え

◆事務用の複合機の故障が度重なり、業務に支障をきたしていたため、新規入替えを行った。

【事業費総額】 1, 194, 600 円

【請 負 業 者】 カワムラジム（リコーリース）

会計業務支援委託について、契約していた監査法人から値上げを伝えられたため、監査法人 3 社の相見積もりを行い、費用・支援内容等を鑑みて下記の監査法人に契約を変更した。

【契 約 法 人】 佐々木公認会計士事務所

【年間委託料】 880, 000 円

（５）その他継続した事業

- ① 地域活動への参加（小中学校地区活動、地域防犯・青年会活動）
- ② 実習生の受け入れ 4 校 12 名（延べ 168 日）、
現場体験の受け入れ 1 名（延べ 3 日）
- ③ ボランティアの受け入れ（4 団体延べ 69 回）
- ④ 浄土宗社会福祉協会・会員施設同士の職員交換研修
1 名派遣（11 月 19 日～23 日）・1 名受入（11 月 6 日～10 日）
- ⑤ 卒園生へのアフターケア（社会に適応できるように悩み相談・自立支援等）
- ⑥ 『学園だより』を学園ホームページ上に毎月掲載し、保護者・関係機関等に施設・児童状況を知らせた。なお、寄贈の問い合わせも月平均 1 件程度あった。